社会基盤メンテナンス教育センター (iMec)活動報告

iMecフォーラム2017 平成29年12月14日





iMec活動報告概要

1. 実施事業

平成29年度事業採択状況 メンテナンス技術者育成教育プログラムの開発

2. 技術資格認定

制度の創設, 国交省技術者資格登録, 認定要件, 認定状況

- 3. KOSEN(高専)4. Oイニシアティブ 事業概要, インターンシップの実施
- 4. その他活動

橋の老朽化対策研究会,出前講座,JICA研修 第1回インフラメンテナンス大賞受賞報告

5. 今後の課題と展望

1. 実施事業

• 平成29年度事業採択状況

京都府北部地域におけるアクティブ・ラーニングを基軸としたインフラメンテナンス技術者育成のための教育プログラムの開発

採択機関	事業•助成名称	実施内容
文部科学省	平成29年度「専修学校による地域産業 中核人材養成」事業	インフラメンテナンス技術者 育成カリキュラムの開発

社会基盤を支えるメンテナンス技術者養成による地域創生への貢献

採択機関	事業•助成名称	実施内容
文部科学省	平成29年度"KOSEN(高専)4.0"イニ シアティブ採択事業(地域への貢献)	メンテナンス技術者育成教育 プログラムの充実、教育を地域 に提供する

3

インフラメンテナンス技術者育成 教育プログラムの開発

- ◆e + iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】
- ◆e + iMec講習会【応用編(橋梁点検)】
- ◆e + iMec講習会【コンクリートの品質管理】
- ◆e + iMec講習会【地盤と斜面】
- ◆e + iMec講習会【鋼構造物の非破壊検査】





1. e+iMec講習会:開催実績(H29年度)

• 基礎編(橋梁点検)

2017.12.14時点

集計項目	高等専門 学校生	行政機関 技術職員	民間企業 等技術者	切替講習会	合計
開催回数(回)	1*	3	7	2	15
受講者数 (人)	12**	17	60	40	129

*インターンシップでの開催 **インターンシップの他、行政・民間の講習会を受講

• 応用編(橋梁点検)

2017.12.14時点

集計項目	高等専門 学校生	行政機関 技術職員	民間企業 等技術者	合計
開催回数(回)	対象外	2	2	4
受講者数 (人)	対象外	8	16	24

5

Infrastructure
Maintenance
Educationa
Cente

- 橋梁工学に関する知識及び道路構造物の損傷に関する知識の修得
- •一般的な形式の道路橋について道路橋定期点検要領に基づく点検の履行に必要な知識及び技能の修得

- ◆eラーニング(事前学修):講習会前2週間,全9講座
- ◆講習会:2日間,開催場所:iMecおよび舞鶴市内橋梁
- ◆主なカリキュラム:実物劣化部材を用いた実習、維持管理計画立案演習、橋梁現場実習









Infrastructure Maintenance

・一般的な形式以外の道路橋も含め、道路橋定期点検要領に基づく点検の履行に必要な知識及び技能の修得

ucational Center

一般的な形式の道路橋について道路橋定期点検要領に基づく健全性の診断の履行に必要な知識及び技能

7

◆eラーニング(事前学修):講習会前2週間,全3講座

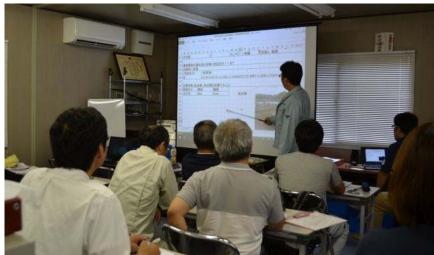
◆講習会:3日間, 開催場所:iMecおよび舞鶴市内橋梁

◆主なカリキュラム:座学、コンクリート橋・鋼橋の定期点検演習、点検調書作成、プレゼン









e + iMec講習会【コンクリートの品質管理】

- ◆目的:カリキュラムの課題・改善点の抽出と実効性の検証
- ◆修得を目指す知識及び技能 コンクリートの特性及び構成材料に関する基礎知識、並びに、コンクリートの品質管理 に費用な知識及び技能
- ◆場所:舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センター
- ◆日程【eラーニング(事前学修)】 受講期間 : 講習会2週間前~開始前(2週間)

【iMec講習会】

- ①平成29年9月9日(土)、9月10日(日)<座学講義・墨だし・鉄筋組立・型枠組立> 平成29年9月22日(金)<打設> 平成29年10月2日(月)<脱型>
- ②平成29年10月28日(土)、29日(日)<座学講義・墨だし・鉄筋組立・型枠組立> 平成29年11月2日(木)<打設> 平成29年11月11日(土)<脱型>

◆受講者数(計17名)

	高等専門学校生	行政	計
日程①	1	7	8
日程②	6	3	9

8

e + iMec講習会【コンクリートの品質管理】









e + iMec講習会【地盤と斜面】

- ◆目的:カリキュラムの開発及び課題・改善点の抽出、実効性の検証
- ◆受講者(行政機関) 4名 京都府1名、舞鶴市1名、京都技術サポートセンター1名 ※京丹後市4名、綾部市1名、舞鶴市1名は災害対応のため欠席
- ◆場所:舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センター及び舞鶴市内現場
- ◆日程

【eラーニング(事前学修):講習会前2週間】 【講習会2日間】・平成29年11月16日(木)~17日(金) ・平成30年2月22日(木)~23日(金)

◆教育プログラムの提供・実施協力 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター センター長・教授 沢田 和秀氏 特別研究補佐員 加藤 十良氏 社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 修了生4名

e + iMec講習会【地盤と斜面】









e + iMec講習会【鋼構造物の非破壊検査】

<実施概要>

◆目的 カリキュラムの課題・改善点の抽出と実効性の検証

- ◆修得を目指す知識及び技能 構造物の非破壊検査のうち汎用的な調査手法について、実施及び調査結果からの 損傷評価に必要な知識及び技能
- ◆受講者 行政機関4名、民間企業6名 計10名 行政機関:舞鶴市1名、綾部市1名、京都技術サポートセンター1名、 新日本海事工業(株)1名 ※京丹後市1名は災害対応のため欠席 民間企業:京福コンサルタント2名、森エンジニアリング4名
- ◆場所 舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センター
- ◆日程

【eラーニング(事前学修)】:講習会前2週間 平成29年11月24日(金):行政機関対象 平成29年11月25日(土):民間企業対象 12

e + iMec講習会【鋼構造物の非破壊検査】









2. 技術資格認定

(独)国立高等専門学校機構による橋梁メンテナンスに関する技術資格の認定







2. 技術資格認定:制度の創設

- ・ 平成28年度に橋梁メンテナンスに関する技術資格制度を創設
- ・ 資格付与にあたり(独)国立高等専門学校機構理から登録証を発行

(独)国立高等専門学校機構 が認定する技術資格

応用編

「橋梁点検技術者」認定講座

国土交通省が発注する 全ての橋梁形式の点検業務 を実施できるレベル

基礎編

「准橋梁点検技術者」認定講座

地方自治体が発注する 一般的な橋梁形式の点検業務 を実施できるレベル

導入編

『橋梁点検技術者』は平成29年2月24日付で「国土交通省登録資格」に登録

『橋梁点検技術者』及び『准橋梁点検技術者』

● 平成28年度から(独)国立高等専門学校機構による橋梁メンテナンスに関する技術資格として『橋梁点検技術者』及び『准橋梁点検技術者』の認定を開始舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター(略称iMec)において、技術資格認定講習会及び認定試験を実施現在17機関が橋梁点検・診断の民間資格付与機関として登録このうち、教育機関は6機関(5大学、1高専)

● 『橋梁点検技術者』は平成29年2月24日付で「国土交通省登録資格」に登録 国及び地方公共団体では業務発注に際し総合評価で加点評価するなど資格保有者を 積極的に活用 Infrastructure Maintenance Educational

Cente

学生のキャリアアップ

建設系学科の高専本科生及び 専攻科生・大学生による在学中 の技術資格取得を推進

地域への貢献

全国の高等専門学校との連携 による地域の技術者育成と 教育拠点の形成

准橋梁点検技術者及び橋梁点検技術者の認定・登録・更新等フロー

受付

全国の高等専門学校で 学生・地域の技術者の 受講者を受付 eフーニング 受講者が時間・場所 を選ばす受講

講習会

舞鶴高専iMecにて 対面式講習会と 認定試験を実施

技術資格認定 登録証発行

(独)国立高等専門学校機構 が認定する技術資格

導入編

応用編

「橋梁点検技術者」認定講座

国土交通省が発注する全ての橋梁形式の点検業務を実施できるレベル

基礎編

「准橋梁点検技術者」認定講座

■ 「准備架点使技術者」 説

地方自治体が発注する一般的な橋梁形式の点検業務を実施できるレベル

道路構造物の損傷に関する初歩的な知識及び技能を修得する(受講は任意)

	技術資格認定要件	点検業務の実施範囲			
技術資格名称	女明貝食能に要け (全てに該当していること)	特殊な橋梁形式 (アーチ橋, 吊橋, 斜張橋等)	一般的な橋梁形式 (桁橋,床版橋等)		
准橋梁点検技術者	・ e +iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】又は准橋梁点検技術者 切替講習会の修了証を授与されていること ・准橋梁点検技術者認定試験合格基準を満たしていること	資格なし	点検業務※		
橋梁点検技術者	・准橋梁点検技術者として認定を受けていること ・橋梁の整備・維持管理に係る1年以上の実務経験を有すること ・e+iMec講習会【応用編(橋梁点検)】の修了証を授与されて いること ・橋梁点検技術者認定試験合格基準を満たしていること	点検業務	点検業務 診断業務※		

インターンシップ

- ●対象 全国の高専本 科生、専攻科生
- ●実施時期 夏季休暇中など
- ●場所 舞鶴高専iMec
- ●期間 1週間または2週 間, 1dayなどカ リキュラムをカス タマイズ可能



Infrastructure Maintenance Educationa

Center

17

1頁/16頁中

The second secon	
: 今回登録された資格	(登録番号162号~)

【別添1】 公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録簿

〇ここに記載のある資格は、「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程(平成26年国土交通省告示第1107号)」に基づいて、技術者資格登録簿に登録された資格の一覧です。

〇この告示に基づく資格登録制度は、公共工事に関する調査(点検及び診断を含む。)及び設計等に関し、品質の確保と技術者の育成及び活用の促進を図ることを目的として創設されたもので、登録申請のあった 資格について、上記の告示で定めた必要な知識・技術等に関する要件をすべて満たしていることが申請書類において確認された資格を登録したものです。

〇国土交通省としては、この趣旨を踏まえ、登録された資格の積極的な活用を期待しております。なお、今回の登録は、登録されていない資格について活用をただちに妨げる趣旨ではないことも併せてご理解いた だき、各発注機関においては、業務の発注要件の設定等にあたり、配慮をお願いいたします。

(参考) 建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価方式の運用ガイドライン(平成27年11月改正)

2. 国土交通省 技術者資格登録

登録年月	n 登録番号	資格の名称	資本	各が対象とする	区分	資格付与事業又は事務を行う者の氏名又は名称及び	資格付与事業又は事務を行う
豆稣牛刀	(品確技資第〇号)	具備の右称	施設分野	業務	知識・技術を 求める者	住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	事務所の名称及び所在地
平成29年2月	24日 第162号	下水道管路管理主任 技士	下水道管路施 設	点検・診断	管理技術者	公益社団法人日本下水道管路管理業協会 長谷川 健司 東京都千代田区岩本町2丁目5番11号	公益社団法人日本下水道管路管理業協会 東京都千代田区岩本町 2 丁目 5 番 1 1 号
平成29年2月	24日 第163号	1級土木技術者(海 岸・海洋)コースB	海岸堤防等	点検・診断	管理技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地
平成29年2月	24日 第164号	1級土木技術者(流域・都市)コースA	海岸堤防等	点検・診断	管理技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地
平成29年2月	24日 第165号	上級土木技術者 (鋼・コンクリー ト)コースA	橋梁(鋼橋)	点検	担当技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地
平成29年2月	24日 第166号	1 級土木技術者 (鋼・コンクリー ト) コース A	橋梁(鋼橋)	点検	担当技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地
平成29年2月	24日 第167号	上級土木技術者 (鋼・コンクリー ト)コースB	橋梁(鋼橋)	点検	担当技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地
平成29年2月	24日 第168号	四国社会基盤メンテ ナンスエキスパート	橋梁(鋼橋)	点検	担当技術者	国立大学法人爱媛大学 大橋 裕一 爱媛県松山市道後樋又10番13号	愛媛大学社会連携推進機構防災情報研究センター 愛媛県松山市文京町 3 番
平成29年2月	24日 第169号	社会基盤メンテナン スエキスパート山口	橋梁(鋼橋)	点検	担当技術者	国立大学法人山口大学 岡 正朗 山口県山口市吉田1677-1	国立大学法人山口大学工学部社会建設工学科ME山口事務局 山口県宇部市常盤台2-16-1
平成29年2月	24日 第170号	横梁点検技術者	橋梁(鋼橋)	点検	担当技術者	独立行政法人国立高等専門学校機構 谷口 功 東京都八王子市東浅川町701-2	舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター 京都府舞鶴市宇白屋 2 3 4
		in + 当か並を止かる				一般財団法人首都高速道路技術センター	So, Billion (4) 1 which the visit size of electric 4 . As

2. 国土交通省 技術者資格登録

18

登録年月日	登録番号	資格の名称	資格が対象とする区分			資格付与事業又は事務を行う者の氏名又は名称及び	資格付与事業又は事務を行う	
22.772	(品確技資第○号)	2	施設分野	業務	知識・技術を 求める者	住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	事務所の名称及び所在地	
平成29年2月24日	第176号	社会基盤メンテナン スエキスパート山口	橋梁(鋼橋)	診断	担当技術者	国立大学法人山口大学 岡 正朗 山口県山口市吉田 1 6 7 7 - 1	国立大学法人山口大学工学部社会建設工学科ME山口事務局 山口県宇部市常盤台2-16-1	
平成29年2月24日	第177号	都市道路構造物点検 技術者	橋梁(鋼橋)	診断	担当技術者	一般財団法人首都高速道路技術センター 鈴木 剋之 東京都港区虎ノ門三丁目10番11号虎ノ門PFビル4階	一般財団法人首都高速道路技術センター 東京都港区虎ノ門三丁目10番11号虎ノ門PFビル4階	
平成29年2月24日	第178号	上級土木技術者 (鋼・コンクリー ト) コース A	橋梁(コンクリート橋)	点検	担当技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地	
平成29年2月24日	第179号	1 級土木技術者 (鋼・コンクリー ト) コース A	橋梁 (コンク リート橋)	点検	担当技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地	
平成29年2月24日	第180号	上級土木技術者 (鋼・コンクリー ト)コースB	橋梁 (コンク リート橋)	点検	担当技術者	公益社団法人土木学会 田代 民治 東京都新宿区四谷一丁目無番地	土木学会技術推進機構 東京都新宿区四谷一丁目無番地	
平成29年2月24日	第181号	四国社会基盤メンテ ナンスエキスパート		点検	担当技術者	国立大学法人爱媛大学 大橋 裕一 爱媛県松山市道後樋又10番13号	受緩大学社会連携推進機構防災情報研究センター 愛媛県松山市文京町3番	
平成29年2月24日	第182号	社会基盤メンテナン スエキスパート山口	橋梁 (コンク リート橋)	点検	担当技術者	国立大学法人山口大学 岡 正朗 山口県山口市吉田 1 6 7 7 - 1	国立大学法人山口大学工学部社会建設工学科ME山口事務局 山口県宇部市常盤台2-16-1	
平成29年2月24日	第183号	橋梁点検技術者	橋梁(コンク リート橋)	点検	担当技術者	独立行政法人国立高等専門学校機構 谷口 功 東京都八王子市東浅川町701-2	舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター 京都府舞鶴市宇白屋 2 3 4	
						一般財団法人首都高速道路技術センター	As B Comment of the Associated Comment of the Comme	

※公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録簿より抜粋

19

2. 技術資格認定:認定要件

• 准橋梁点検技術者

- ✓ e+iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】を修了
- ✓ 准橋梁点検技術者認定試験に合格

出題形式	合格基準
選択式(問題数30問,制限時間45分)	正答数24問(100点満点中80点以上)

• 橋梁点検技術者

- ✓ 准橋梁点検技術者に認定
- ✓ e+iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】を修了
- ✓ 橋梁点検技術者認定試験に合格
- ✓ 橋梁の整備・維持管理に関する1年以上の実務経歴

出題形式	合格基準
選択式(問題数30問,制限時間45分):配点60点 記述式(問題数2問,制限時間15分):配点20点 点検調書:配点20点	合計80点以上

2. 技術資格認定:認定状況

2017.12.14時点20

認定日 認定資格	准橋梁点検技術者	橋梁点検技術者
平成28年度	61	2
平成29年度	93	10
合計	154	12

資格付与に当たり, 登録名簿に記載し, 登録証を発行

※登録名簿は,所定の 手続きを経て閲覧可





3. 平成29年度 "KOSEN(高専)4.0"イニシアティブ







平成29年度"KOSEN(高専)4.0"イニシアティブ採択事業(地域への貢献)

社会基盤を支えるメンテナンス技術者養成による地域創生への貢献



事業の背景・方向性・目的

●本事業の背景と方向性

社会基盤の老朽化

- ▶ 高度成長期に建設された社会基盤(道路, 橋梁, トンネル, 斜面, 堤防, 防 災施設、公共施設等)の老朽化の進行
 - (例:中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故)
- ▶ 市町村の現状:深刻な技術力不足のため橋梁等の維持管理・修繕が困難 (町の約5割、村の約7割で橋梁保全業務に携わる土木技術者不在)
 - ・社会基盤の維持管理による安心・安全な地方の生活圏を保持
 - 社会基盤を持続的に維持管理する人材と産業の確保

メンテナンス技術者の育成が急務

本事業の 方向性

- ・地域の社会基盤のメンテナンスを担う技術者の養成
- ・地方創生の新産業としての「社会基盤の維持管理」

● 本事業の目的 ・本事業の目的

- ▶ 舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター*における教育プ ログラムを充実させ、メンテナンスに係る教育を地域に提供する。
- 文科省の中核人材育成事業により開発したコンテンツを学生用に発展させる。
- ▶「社会基盤の維持管理」がビジネスモデルとして成立するための貢献を行う。

実施体制イメージ図

舞鶴工業高等専門学校

本事業全体のコーディネートとカリキュラム 開発等の中心的役割を担う。

学内協力 ₹ 学内評価

メンテナンス 技術者養成 コンソーシアム

地域共同 テクノセンター 運営委員会

京都府北部地域社会基盤 メンテナンス推進協議会

地域ニーズ調査、実証・検証、成果の普及、当 該事業成果の評価と活用を行う。

> 社会基盤メンテナンス 技術レベル検討委員会

有識者等で構成し、技術者育成における技術 レベルに関する事項の審議・評価等を行う。

平成29年度の具体的な取組内容

- ①**アクティブ・ラーニング**によるメンテナンス教育の充実
- ・eラーニングと体験型学修を組み合わせた教育プログラム
- ・道路構造物系のメンテナンス教育プログラムのより一層の充実
- ・体験型学修のための教材・実習の整備・調査
- ②斜面・堤防, 防災, 公共施設に係る教育プログラムの開発
- デジタル版教育コンテンツの作成
- ・オンデマンド型自己学修支援システム(e-learning)の構築
- ・学修到達度確認試験問題の作成
- ③開発カリキュラムの実証・検証
- ・連携高専の専攻科生および本学の学生への試行
- ・検証:アンケートと学修到達度確認試験を実施
- ④受講生へのインセンティブ付与に関する調査
- ⑤事業成果の普及・活用
- 協議会を通じて地元民間企業等に事業成果を周知
- ・小中高の教員向け及び生徒向けの事業紹介(地域に根ざす人材育成)
- ・iMecフォーラムの開催

工程表 · 成里指標

2. 从木田床	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3
ニーズ調査			
教育コンテンツの充実・整備	-		
教育コンテンツの試行・評価	22		
成果のまとめ・改善			

● 成果指標

[地域への貢献] A. 社会基盤のメンテナンスに供する人材の供給 6名(H27年度3名 H28年度4名)

- B. 橋梁点検に係わる教育プログラムの受講者数 20名(H27年度7名, H28年度9名)
- C. 高専機構による技術者資格認定者数 14名(H27年度0名, H28年度6名)

第4期中期目標期間への展開

本事業を実施することにより、土木・建築系高専生が地域の安全と 安心を守る社会基盤の整備・維持管理に興味を持つと共に、地域に就 職することが地域社会への貢献になることを意識させ、地元自治体及 び地域産業への人材供給を促進する。コアカリキュラムへのメンテナ ンス工学の導入、インフラメンテに係わる他学科との協働も図る。

3. インターンシップ

◆e + iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】のカリキュラムを基に 工業高等専門学校 生向けに発展

日時 :平成29年9月4日(月)~8日(金)

・ 場所 :iMecおよび舞鶴市内橋梁

• 参加者:阿南工業高等専門学校,和歌山工業高等専門学校,木更津工業高等専門

学校, 徳山工業高等専門学校, 舞鶴工業高等専門学校から計10名

【研修内容】

参加者間の交流、橋梁点検に関する座学、橋梁部材の劣化サンプルを用いた実習、 コンクリート橋および鋼橋での現場実習、維持管理計画立案演習、詳細調査手法の実習、 舞鶴クレインブリッジでの現場演習、5日間の実習内容のプレゼンテーション、学修到達度 確認試験





3. インターンシップ









4. その他活動:橋の老朽化対策研究会

・ 平成29年度第1回橋の老朽化対策研究会を開催

• 日時 :平成29年7月28日(金) 14:30~16:30

・ 場所 :キャンパスプラザ京都 第1会議室

・ 参加者:福島,石川,和歌山,徳山,阿南,高知,長岡,舞鶴高専の教授,准教授,助教等

【議事】 ① 各高専から話題提供

② 昨年度活動報告

③ 今年度活動方針(e + iMec講習会の各高専への展開について)





25

26

4. その他活動:出前講座

・ 京都工学院高校生を対象に出前講座を実施

• 日時:平成29年11月23日(木) 10:30~15:30

・ 場所:舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター

· 人数:生徒11名, 教員2名

iMec講習会【工業高校生編(1日コース)】 カリキュラム

10:30 ~ 11:00	30分	開講式 ・ガイダンス ・橋について ・舞鶴市が管理する橋梁の現状と課題
	10分	休 憩
11:10 ~ 12:00	50分	・コンクリート構造物の損傷 ・実物による体験学習 コンクリートDr.になろう! 欠陥探索実習
	60分	昼食
13:00 ~ 13:50	50分	・欠陥探索発表 ・実物による体験学習 コンクリート構造物の損傷、打音検査
	10分	休 憩
14:00 ~ 14:50	50分	・鋼橋、支承の損傷について・実物を用いた学習 鋼橋、支承の損傷・まとめ 道路橋の三大損傷
	10分	休 憩
15:00 ~ 15:20	20分	質疑応答・確認テスト・アンケート
15:20 ~ 15:30	10分	閉講式 ·修了証授与







4. その他活動: JICA研修

・ 2017年度JICA研修(都市内道路整備コース)を受入れ

27

- ◆1回目(平成29年6月9日), 15カ国から計15名が参加
 - アフガニスタン、モルドバ、エジプト、リベリア、コートジボワール、カメルーン、コンゴ民主共和国、ルワンダ、タンザニア、マダガスカル、ウガンダ、ケニア、エチオピア、東ティモール、パプアニューギニア







- ◆2回目(平成29年9月29日),8カ国から計13名が参加
 - ブルキナファソ、ブルンジ、コンゴ民主共和国、エチオピア、リベリア、マラウイ、ルワンダ、ウガンダ







第1回インフラメンテナンス大賞 受賞報告







メンテナンス大賞

メンテナンスを支える活動部門

国土交通省



取組概要

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター(略称 i Mec)が、講習会の開催やeラーニングによる実務者の学修環境を整備し、行政機関や民間企業等の建設技術者を幅広く受け入れ、地域のインフラメンテナンスを支える中核的施設として活動している取組。

受賞理由

e-ラーニングによる学習をベースとして、コンクリート橋等の主要な部材の劣化状況に関する実物を用い、少人数でアクティブ・ラーニングにより実践的に技術力を習得できる技術者育成プログラムを開発して多くの人材を輩出している取組について、地域におけるインフラメンテナンス技術者を継続的に育成しており、全国的な技術者不足の解消に寄与する取組として広く知らしめるものとして評価された。

取組のポイツト

劣化・損傷や補修・補強工法等について実物に見て触れて学修することで実践的な技術力を習得でき、橋梁点検に関する技術資格認定制度を創設してこれまでに計39人の有資格者を輩出している。

技術資格認定状況

地方自治体が発注する 一般的な模様形式の店検業器 を実施できるレベル

平成28年度 61名

応用編

関土交通名が免注する
 全工の標準形式の点検業務
 を実施できるレベル

「標準点検技術者」は国土交通省技術者登録資格です。

有」認定講座

准棚梁点検技術者 檔梁点検技術者





SWEII音覧



受賞者

舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 加登 文学/毛利 聡

コメント

インフラメンテナンス大賞の受賞は大変光栄であり、 i Me c の活動を支えて下さる皆様方に心より感謝申し 上げます。今後も地域固有のニーズに応えるインフラメ ンテナンス技術者育成に努めてまいります。

団体概要

社会基盤メンテナンス教育センターは、インフラ維持管理に関する実践的な教育システムを構築するため、平成26年1月23日に舞鶴高専内に開設されました。地元のインフラは地元で守るをスローガンに活動しています。

問い合わせ先

舞鶴工業高等専門学校 建設システムエ学科 教授 玉田 和也

 0773 - 62 - 8983/tamada@maizuru-ct.ac.jp

 舞鶴工業高等専門学校 社会基際メンテナンス教育センター

 特命助教 嶋田 知子

0773 - 62 - 8877 / Lshimada@maizuru-clac.jo

メンテナンス大賞

Infrastructure
Maintenance
Educational
Center

メンテナンスを支える活動部門

国土交通省



メンテナンス大賞

取組概要

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター(略称 i Mec)が、講習会の開催やeラーニングによる実務者の学修環境を整備し、行政機関や民間企業等の建設技術者を幅広く受け入れ、地域のインフラメンテナンスを支える中核的施設として活動している取組。

受賞理由

e-ラーニングによる学習をベースとして、コンクリート橋等の主要な部材の劣化状況に関する実物を用い、少人数でアクティブ・ラーニングにより実践的に技術力を習得できる技術者育成プログラムを開発して多くの人材を輩出している取組について、地域におけるインフラメンテナンス技術者を継続的に育成しており、全国的な技術者不足の解消に寄与する取組として広く知らしめるものとして評価された。

関組の形分と

劣化・損傷や補修・補強工法等について実物に見て触れて学修することで実践的な技術力を習得でき、橋梁点検に関する技術資格認定制度を創設してこれまでに計63人の有資格者を輩出している。

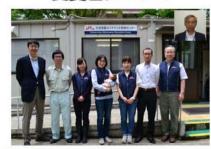
e+iMec講習会 【基礎編(橋梁点検)】カリキュラム



技術資格認定状況



で初き到着買受



受賞者

舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター 玉田 和也/嶋田 知子/加登 朋恵/河岸 明 独立行政法人 国立高等専門学校機構 研究・産学連携推進室 田村 隆弘

舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 加登 文学/毛利 聡

コメント

インフラメンテナンス大賞の受賞は大変光栄であり、 i Mecの活動を支えて下さる皆様方に心より感謝申し 上げます。今後も地域固有のニーズに応えるインフラメ ンテナンス技術者育成に努めてまいります。

団体概要

社会基盤メンテナンス教育センターは、インフラ維持管理に関する実践的な教育システムを構築するため、平成26年1月23日に舞鶴高専内に開設されました。地元のインフラは地元で守るをスローガンに活動しています。

問い合わせ先

舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科教授 玉田 和也

0773 - 62 - 8983/tamada@maizuru-ct.ac.jp

舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター 特命助教 嶋田 知子

0773 - 62 - 8877/tshimada@maizuru-ctac.jp

インフラメンテナンス大賞表彰式 平成29年7月24日 於:国土交通省









- ・ 地域ニーズに応えた技術者育成活動の継続
- 開発した教育プログラムの水平展開
- ・ 技術資格認定の継続的実施と資格保有者の増加
- ・ 地元自治体によるiMec育成技術者の積極的活用
- ・ 活動広報及び研究論文の発表
- ・ 平成30年度以降のiMec運営(体制面・資金面)



地元のインフラは地元で守る。

ご清聴ありがとうございました

iMecホームページ

http://www.maizuru-ct.ac.jp/imec/

iMec 舞鶴



講習会予告やiMec活動に関する 最新情報を掲載しています。

iMecメールアドレス imec@maizuru-ct.ac.jp

iMec電話番号(直通) 0773-62-8877





最新情報 ■2016 12 3 newIII 「道路橋のメンテナンスに関する講義と実習」の出前授業を行いました ■2016.12.12 new!!! iMecフォーラム2016を開催します 【活動日記】e+iMec精習会【基礎編(橋梁点検)】(行政_H28Vol.5)を開催しました 【活動日記】京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会(第2回)を開催しました **2016 11 19** 【活動日記】e+iMec講習会【基礎編(橋梁点検)】(民間_H28Vol.6)を開催しました 【活動日記】社会基盤メンテナンス技術レベル検討委員会 (第2回) を開催しました 【アーカイブ】豆知識を更新しました

社会基盤メンテナンス教育センター(iMec)

Infrastructure Maintenance Educational

構築するため、平成26年1月23日に舞鶴工業高等専門学校 設されました。全国の高専生や地方自治体職員、民間技術者などを幅 広く受け入れ、現場に密着した教育センターとして、維持管理技術し 特化した人材育成を行っています。

○iMecについて

ご支援いただいた皆様

● アクセス iMec(舞鶴高専)へのアクセスはこちら

お問い合せ 🔀 E-mail 🖀 0773-62-8877(直通)



社会基盤メンテナンス教育センター Infrastructure Maintenance Educational Center



舞鶴工業高等専門学校